

17 飼料増産・安定供給対策

【令和6年度予算概算決定額 1,820 (2,143) 百万円】
 (令和5年度補正予算額 (所要額) 13,000百万円)

<対策のポイント>

飼料生産基盤に立脚した持続的な畜産経営の推進に向けて、国産飼料の生産・利用拡大を図るため、**飼料生産組織の人材確保・育成の取組、国産濃厚飼料の生産・利用の推進等**の取組を支援します。また、飼料の安定供給を図るため、**飼料穀物の備蓄や飼料流通の効率化の実証等**の取組を支援します。

<政策目標>

- 飼料自給率：25%→34% [平成30年度→令和12年度まで]
- 畜産農家への安定的な配合飼料の供給

<事業の内容>

1. 国産飼料増産対策事業

- 飼料生産組織の**人材確保・育成**
飼料生産組織のオペレーター確保に向けた**募集活動**や、**大型特殊免許**や必要な**技術資格の取得**、**人材育成のための研修**を支援します。
- 国産濃厚飼料生産の推進
子実用とうもろこし等の国内生産・利用を推進するための**生産技術実証・普及等**の取組を支援します。
- 環境対策
温室効果ガス削減資材の効果や畜産物の品質への影響等のデータ収集・分析等の取組を推進します。

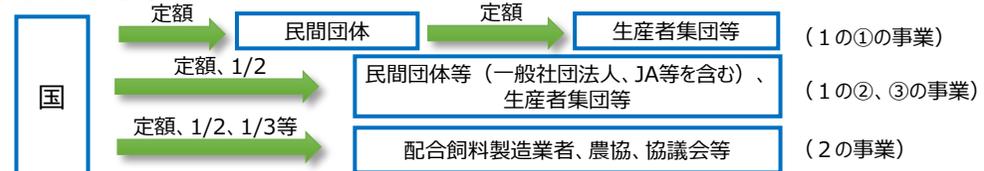
2. 飼料穀物備蓄・流通合理化作業

- 飼料穀物備蓄対策
不測の事態に備え、配合飼料製造業者等が事業継続計画（BCP）に基づき実施する**飼料穀物の備蓄**や、関係者間の**連携体制の強化**の取組を支援します。
- 飼料流通合理化対策
飼料流通の効率化・標準化に資する実証、新たな**国産粗飼料の広域流通体制**を構築する実証の取組を支援します。

(令和5年度補正予算)

飼料自給率向上緊急対策 (所要額) 13,000百万円
 耕畜連携の取組等による国産飼料の生産・利用の拡大を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 国産飼料増産対策事業



2. 飼料穀物備蓄・流通合理化作業

- **飼料穀物の備蓄 (1/3以内)**
配合飼料製造業者等が実施する飼料穀物の備蓄の取組を支援
 - **配合飼料の緊急運搬 (1/2以内、定額)**
国内の災害時等に、配合飼料供給困難地域への緊急運搬を支援
 - **関係者間の連携のための環境整備 (定額)**
平時における関係者の連携体制の強化の取組を支援
- 大型ハリケーン等の不測の事態
 緊急運搬支援
 環境整備支援
- **飼料輸送の効率化実証、国産粗飼料の広域流通実証 (定額、1/2以内)**
センサーやタンク蓋開閉装置等を用いた飼料の在庫・配送管理等の効率化実証等を支援
- センサーがタンク内残量データを送信

【お問い合わせ先】 (1の事業) 畜産局飼料課 (03-6744-7192)
 (2の事業) 飼料課 (03-3591-6745)